

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和7年度病虫害発生予察技術情報第1号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第1号（ナシ赤星病）を発表したので送付します。

技術情報第1号

1 対象作物：ナシ

2 病虫害名：赤星病

3 発生地域：県下全域

4 ナシへの感染時期：前年より遅く、4月14日以降の数日がピークとなる。

5 根拠

(1) 筑紫野市吉木のナシ園周辺地域におけるビャクシン上のナシ赤星病冬孢子堆を調査した結果、4月2半旬（4月9日）時点での膨張率は80%（前年値100%）、成熟度は61（前年93）と、前年より遅かった。

(2) 4月1日起算の「冬孢子堆発芽最多期予想の回帰式」（福岡県立園芸試験場、昭和45年）によると、大宰府アメダスの気温から算出されるビャクシンからの小生子の飛散ピークは、4月3日（平年3月29日、前年4月1日）以降の降雨後と予想される。

(3) 気象予報（令和7年4月12日～令和7年5月10日）

向こう1か月の気温・降水量・日照時間（数値は予想される出現確率）

	平均気温	降水量	日照時間
九州北部地方	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

(福岡管区気象台 令和7年4月10日発表1か月予報より抜粋)

(4) 4月12～13日に福岡県は雨天となったため、小生子の飛散は14日以降に最多となることが予想される。

6 防除上注意すべき事項

(1) ナシ園周辺にあるビャクシン上の冬孢子堆の状況把握に努め、週間天気予報で降雨日を把握しながら適期防除に努める。

(2) 薬剤防除にDMI剤やSDHI剤を用いる場合は、薬剤耐性菌の発生リスクを軽減するために、異なる系統の薬剤をローテーション散布し、同一系統の薬剤は春季防除で年1回、年間で2回以内にとどめる。

(3) 防除にあたっては農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し、周辺ほ場への薬剤飛散防止対策を講じる。

ビャクシン上のナシ赤星病冬孢子堆の成熟状況の推移(水浸法)

調査地点	調査時期 月-半旬	2020年		2021年		2022年	
		膨潤率(%)	成熟度	膨潤率(%)	成熟度	膨潤率(%)	成熟度
筑紫野市	3-5	57	24	80	49	5	1
	4-2	93	53	100	92	64	27
	4-5	100	87	100	90	100	92
調査地点	調査時期 月-半旬	2023年		2024年		2025年	
		膨潤率(%)	成熟度	膨潤率(%)	成熟度	膨潤率(%)	成熟度
筑紫野市	3-5	44	18	75	52	53	30
	4-2	100	69	100	93	82	61
	4-5	-	-	100	100		

—は欠測

ビャクシン上の冬孢子堆を水に 30 分浸漬し、膨張程度を以下の 5 段階で評価した。

A：冬孢子堆が外観的に完全に膨張 B：一部に未膨張のものがある C：約 50%が未膨張
D：一部に膨張するものがある E：すべて未膨張 (下図参照)

評価後に、膨張率と成熟度を以下の式で算出した

膨張率 = $(A+B+C+D) / \text{孢子堆数}$ 、成熟度 = $\{(4A+3B+2C+D) / (4 \times \text{孢子堆数})\}$



病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。
発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

なお、3月より当ホームページのアドレスを下記のとおり変更しました。

旧ホームページをお気に入りやブックマーク等に登録されている場合は、お手数ですが設定の変更をお願いします。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL:<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuoka-bouzyosyo.html>

または右QRコード ①

①⇒

○X (旧 Twitter) で定期情報や警報等発出のお知らせをしています。

X (旧 Twitter) の本アカウント (福岡県農作物病害虫情報) へのアクセス

URL : https://x.com/PPDPO_Fukuoka または右 QR コード ②

②⇒

